

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

清水 正之 しみず・まさゆき

聖学院大学学長、聖学院大学総合研究所副所長。東京大学文学部倫理学科卒業、同大学院博士課程単位取得満期退学、博士（人文科学、お茶の水女子大学）。2007年より聖学院大学教授、アメリカ・ヨーロッパ文化科学研究科長・人文科学部長を経て現職。日本倫理学会評議員、東大学生キリスト教青年会理事。専門は倫理学・日本倫理想史。

〔著訳書〕『日本思想全史』（筑摩書房）、『国学の他者像——誠実と虚偽』（ペリかん社）、『甦る和辻哲郎——人文科学の再生に向けて』（共編著、ナカニシヤ出版）、『岩波講座 日本の思想』第四卷（共著、岩波書店）、『生きる意味——キリスト教への問いかけ』（共編著、オリエンス宗教研究所）、『教会と学校での宗教教育再考』（共著、オリエンス宗教研究所）、『ホモ・コントリビューエンス——滝久雄・貢献する気持ちの研究』（共著、未来社）。ヘルマン・オームス『徳川イデオロギー』（共訳、ペリかん社）、ほか。

시미즈 마사유키

세이가쿠인대학교 총장, 세이가쿠인대학교 종합연구소 부소장. 도쿄대학교 문학부 윤리학과 졸업, 도쿄대학교 대학원 박사과정 졸업, 박사(인문과학, 오차노미즈여자대학교). 2007년부터 세이가쿠인대학교 교수, 미국·유럽 문화학 연구과장·인문대학 부장을 거쳐 현 직. 일본 윤리학회 평의원, 도쿄대학생 기독교청년회 이사. 전문은 윤리학·일본 윤리사상사.

〔지역서〕『日本思想全史〈일본사상전사〉』（筑摩書房〈치쿠마서방〉）、『国学の他者像——誠実と虚偽〈국학의 타자상——성실과 허위〉』（ペリかん社〈페리칸사〉）、『甦る和辻哲郎——人文科学の再生に向けて〈부활하는 와즈지 테츠로——인문과학의 재생을 위해〉』（共編著〈공편저〉）、ナカニシヤ出版〈나카니시아 출판〉）、『岩波講座 日本の思想〈이와나미강좌 일본의 사상〉』第四卷〈제4권〉（共著〈공저〉）、岩波書店〈이와나미서점〉）、『生きる意味——キリスト教への問いかけ〈삶의 의미——그리스도교에 대한 질문〉』（共編著〈공편저〉）、オリエンス宗教研究所〈オリエン스 종교연구소〉）、『教会と学校での宗教教育再考〈교회와 학교에서의 종교교육 재고〉』（共著〈공저〉）、オリエンス宗教研究所〈オリエン스 종교연구소〉）、『ホモ・コントリビューエンス——滝久雄・貢献する気持ちの研究〈호모·콘트리뷰에ンス——타키 히사오·공헌하는 기분의 연구〉』（共著〈공저〉）、未来社〈미래사〉）、ヘルマン・オームス〈Herman Ooms〉『徳川イデオロギー〈도쿠가와 이데올로기〉』（共訳〈공역〉）、ペリかん社〈페리칸사〉）、기타.

片柳 榮一 かたやなぎ・えいいち

聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科客員教授

京都大学文学部哲学科卒業。同大学院文学研究科修士課程宗教学（基督教学）満期退学。同大研修員を経て、ドイツ、エアランゲン・ニュルンベルク大学へ留学。帰国後、関西学院大学商学部専任講師、神戸大学教養部助教授、京都大学大学院文学研究科教授、聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科教授を歴任。京都大学博士（文学）。京都大学名誉教授。また、2018年9月まで日本基督教学会理事長を務めた。著書に『初期アウグスティヌス哲学の形成』創文社（1995）、その他、著書・論文多数。

카타야나기 에이이치

세이가쿠인대학교 대학원 미국유럽문화학연구과 객원교수

교토대학교 문학부 철학과 졸업. 동대학 문학연구과 석사과정 종교학(기독교학) 수료.

동대학 연구원을 거쳐 독일 에를랑겐-뉘른베르크 대학교 유학. 귀국 후 간사이대학원대학 상학부 전임강사, 고베대학교 교양학과 조교수, 교토대학교 대학원 문학연구과 교수, 세이가쿠인대학교 대학원 미국유럽문화학연구과 교수 역임. 문학박사(교토대학교), 교토대학교 명예교수. 2018년9월까지 일본기독교학회 이사장 역임. 주저『초기 아우구스투누스 철학의 형성』創文社(1995) 외 저서, 논문 다수.

安 允基 アン・윤기 [An, Yoon Ki]

長老会神学大学校 (PUTS) 哲学副教授 (講義研究教員)

ソウル大学校哲学科 (B.A.). 長老会神学大学校神学大学院 (M.Div.). ソウル大学校大学院哲学科 (M.A.). 独テュービンゲン大学 (Ph.D.).

〔著書・論文〕 Transzendente und empirische Subjektivität im Verhältnis, 「근대 미학과 경건주의 〈近代美学と敬虔主義〉」, 「자기의식 문제와 지성적 직관 〈自己意識の問題と知性的直観〉」, 「칸트의 ‘Cogito, ergo sum’ 〈칸트의 ‘Cogito, ergo sum’〉」等.

철학, Ph.D., 강의연구교원

서울대학교 철학과 (B.A.). 장로회신학대학교 신학대학원 (M.Div.). 서울대학교 대학원 철학과 (M.A.). 독일 Universität Tübingen (Ph.D.)

〔논저〕 Transzendente und empirische Subjektivität im Verhältnis, <근대 미학과 경건주의>, <자기의식 문제와 지성적 직관>, <칸트의 ‘Cogito, ergo sum’>

金 永元 キム・ヨンウォン [Kim, Young Won]

長老会神学大学校 (PUTS) 組織神学助教授 (講義研究教員)

ソウル大学校宗教学科 (B.A.)。長老会神学大学校神学大学院 (M.Div.)。長老会神学大学校大学院 (Th.M.)。米国エモリー大学 (Th.M.)。米国 Graduate Theological Union (GTU, Ph.D.)。
〔著書・論文〕『교리의 본성 〈教理の本性〉』(訳書), 「한스 프라이어의 기독교 — 예수 그리스도의 정체성과 현존 〈ハンス・フライのキリスト論 — イエス・キリストのアイデンティティと現存〉」, 「아우구스티누스 『고백록』 10 권과 11 권에 나타난 기억, 시간과 영원, 그리고 그 기독교 인간론적 함축 〈アウグスティヌスの『告白』 10卷と11卷に現れた記憶、時間と永遠、そしてキリスト教的人間論の含蓄〉」等。

조직신학, Ph.D., 강의연구교원

서울대학교 종교학과 (B.A.) . 장로회신학대학교 신학대학원 (M.Div.) . 장로회신학대학교 대학원 (Th.M.) . 미국 Emory University (Th.M.) . 미국 Graduate Theological Union (Ph.D.)
〔논저〕『교리의 본성』(역서), <한스 프라이어의 기독교 — 예수 그리스도의 정체성과 현존>, <아우구스티누스 『고백록』 10 권과 11 권에 나타난 기억, 시간과 영원, 그리고 그 기독교 인간론적 함축>

島田 由紀 しまだ・ゆき

青山学院大学専門職大学院国際マネジメント研究科准教授・宗教主任

東京大学文学部西洋史学専修課程卒業、同大学院人文社会系研究科西洋史学専攻修了。東京神学大学神学科卒業。NY Union SeminaryにてS.T.M. (神学修士)、Princeton Theological SeminaryにてPh.D.。聖学院大学人文学部欧米文化学科准教授を経て、現職。

〔訳書・共編著〕J・ディオティス・ロバーツ 『ボンヘッフアーとキング — 抵抗に生きたキリスト者』(日本キリスト教団出版局、2008)、『キリスト教神学命題集 — ユ스티ノスからJ. コーンまで』(土井健司、村上みか、声名定道、島田由紀 (監修)、日本キリスト教団出版局、2022) 等。

시마다 유키

현재 아오야마가쿠인대학 전문대학원 국제매니저먼트연구과 부교수, 종교주임.

도쿄대 문학부 서양사학전수과정 졸업, 동대학원 인문사회계연구과 서양사학전공 수료.

도쿄신학대학 신학과 졸업. NY Union Seminary에서 S.T.M (신학석사). Princeton Theological Seminary에서 Ph.D. 세이가쿠인대학 인문학부 서양문화학과 부교수를 거쳐, 현직.

〔역서. 공동편저〕『기독교신학명제집 — 유스티노에서 J. 콘까지』. 도이켄지 (土井健司), 무라카미 미카 (村上みか), 아시나 사다미치 (声名定道) 등과 함께 감수 (일본기독교단출판국, 2022) 등.

ナグネ (洛雲海) [Nag, Woon-Hae]

日本人。東京神学大学大学院修士課程修了。韓国・延世大学校韓国語学堂卒。韓国政府招請奨学生として韓国に留学。長老会神学大学校 (PUTS) 大学院修了。神学博士。2021年3月まで韓国・長老会神学大学校 (PUTS) 外国人専任教授 (組織神学)。2021年4月より聖学院大学総合研究所特任教授。2022年4月より同大学政治経済学部特任チャプレンを兼務。東京神学大学アジア伝道研究所研究員。

[著書] Japanese and Korean Theologians in Dialogue, *A Theology of Japan* Vol. 10, Seigakuin University Press, 2017. (共著)、『평신도를 위한 알기쉬운 교리 (信徒のための教理)』(서울: 도서출판 하늘향, 2017) (共著)、책임편집 윤철호, 박성규, 백충현 (責任編集 尹哲昊・朴成奎・白忠鉉), 『온신학의 지평 (온신학의地平)』(서울: 장로회신학대학교 출판부, 2017)ほか。

[論文] 「『2015年 長老会神学大学校神学声明』について」(『聖学院大学総合研究所紀要』No.64, 2017)、「生命より大切なものはあるか」(『聖学院大学総合研究所紀要』No.64, 2017)ほか。

낙운해

일본인. 도쿄신학대학대학원 졸업 (신학석사). 한국·연세대학교 한국어학당 졸업. 한국정부 초청장학생으로 한국유학. 장로회신학대학교 (PUTS) 대학원 졸업 (신학박사). 2021년3월 까지 한국 장로회신학대학교 외국인전임교수 (조직신학). 2021년4월부터 일본 SEIGAKUIN University 종합연구소 특임교수. 2022년4월부터 동대학교 정치경제대학 특임교목 겸임. 도쿄 신학대학교 아시아전도연구소 연구소원.

[저서] (공저) Japanese and Korean Theologians in Dialogue, *A Theology of Japan* Vol.10, Seigakuin University Press, 2017., (공저) 『평신도를 위한 알기 쉬운 교리』(서울: 도서출판 하늘향, 2017)., (공저) 책임편집 최윤배, 박성규, 백충현, 『온신학의 지평』(서울: 장로회신학대학교 출판부, 2017) 외

[논문] 「2015年 長老会神学大学校神学声明」について<『2015년 장로회신학대학교 신학성명』에 관하여>」(『聖学院大学総合研究所紀要 <SEIGAKUIN University 종합연구소 기요>』No.64,2017)、「生命より大切なものはあるか <생명보다 소중한 것은 있는가>」(『聖学院大学総合研究所紀要 <SEIGAKUIN University 종합연구소 기요>』No.64,2017), 외

白 正煥 バク・ジョンファン [Baek Jeong Hwan]

ルーテル学院大学卒業、東京神学大学大学院博士課程前期課程修了。日本基督教団池袋西教会を経て、2004年4月から日本基督教団用賀教会主任担任牧師。

백정환

루터학원대학, 도쿄신학대학 대학원 박사과정 전기과정 졸업,

일본기독교단 이케부쿠로니시교회 전도사 부목사를 거쳐
2004년 4월부터 일본기독교단 요가교회 담임목사

富島 喜揮 とみしま・のぶき

1955年、広島県呉市生まれ。2008年、県立広島女子大学大学院卒業（学術修士）。1979年、国立単科精神科病院に精神科ソーシャルワーカーとして就職。2004年、四国学院大学社会福祉学部教授として就任。（公社）日本精神保健福祉士協会常任理事、日本学校ソーシャルワーク学会査読委員、香川県教育委員会スクールソーシャルワーカーなど歴任。現在、四国学院大学社会福祉学部長、同大学院社会福祉研究科長、香川県人権・同和政策協議会委員などを務める。

〔著書〕「メンタルヘルスとスクールソーシャルワーカー」、『日本の社会福祉の現状と展望——現場からの提言』（三原博光編著、岩崎学術出版社、2011年）、『スクール〈学校〉ソーシャルワーク論』（共編、中央法規、2012年）、ほか。

金谷 京子 かなや・きょうこ

聖学院大学人間福祉学部児童学科教授、こども心理学科教授、心理福祉学科教授を経て、聖学院大学名誉教授。

〔著書・論文〕『臨床発達心理学の基礎』（共編著）、『発達と保育を支える巡回相談——臨床発達支援とアセスメントのガイドライン』（編著）、『配慮の必要な子どものための幼・小連携』（『指導と評価』2018年2月号）、『災害と子ども』（『子育て支援研究』8巻、2018年）、ほか。

田村 綾子 たむら・あやこ

明治学院大学大学院社会福祉学専攻博士後期課程満期退学。聖学院大学心理福祉学部・大学院心理福祉学研究科教授。公益社団法人日本精神保健福祉士協会会長。

専門領域は、精神保健福祉論、ソーシャルワーク論。精神医療分野及び産業保健分野でのソーシャルワーク実践の経験を有し、障害者の地域移行・地域生活支援に関する研究や従事者研修に携わっている。

〔著書・論文〕『精神保健福祉士の実践知に学ぶソーシャルワーク』シリーズ全4巻（編著、中央法規出版）、『図解でわかる——対人援助職のための精神疾患とケア』（共編、中央法規出版）、『ソーシャルワーカーを支える人間福祉スーパービジョン』（分担執筆、聖学院大学出版会）、『いのちの尊厳へのまなざし——精神障害者福祉の歴史と現状を踏まえて』『聖学院大学研究所紀要』第64号、ほか。